

組付要領書 及び部 品 表

Takakita

コンポキャスト 用
日農工標準オートヒッチOSキット

CC-OS-L3

適用機種

CC6002D



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本組付要領書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この組付要領書は、**コンポキャスト用日農工標準オートヒッチ**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。
また、ご使用前にはコンポキャスト本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付して、お渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または弊社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

- | | |
|------|--|
| ⚠ 危険 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。 |
| ⚠ 警告 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。 |
| ⚠ 注意 | その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。 |

日農工標準オートヒッチの組付け

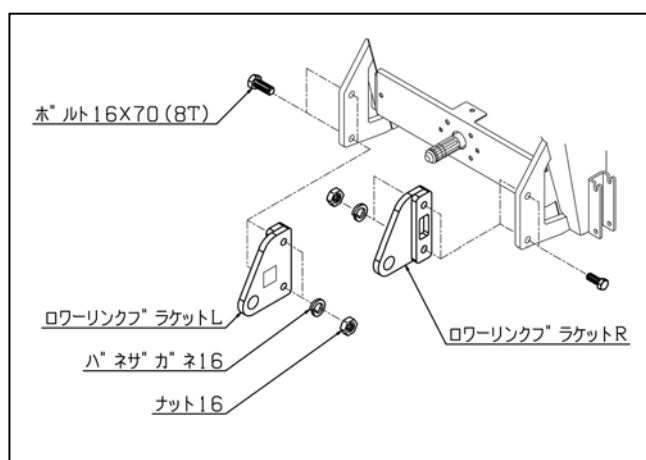
CC-0S-L3

日農工標準オートヒッチO・I用部品

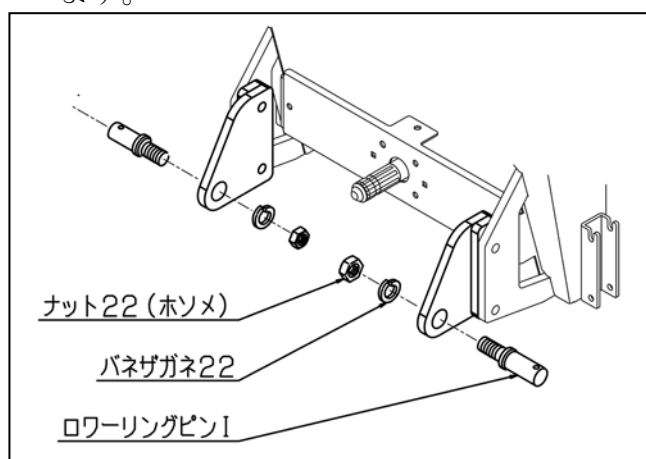
日農工標準オートヒッチO・I規格(OS形)のCC-0S-L3キット部品(オプション)をお持ちのお客様は、下記ブラケット類のオプション部品を組付けていただくと、オートヒッチで本機の着脱ができます。

◆組付け手順

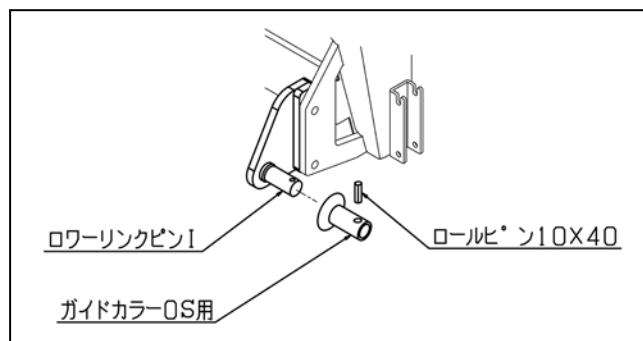
[1] ロワーリンクブラケットR、ローワーリンクブラケットLをそれぞれ内側から取り付け、バネザガネ16、ナット16、ボルト16×70(8T)で固定します。



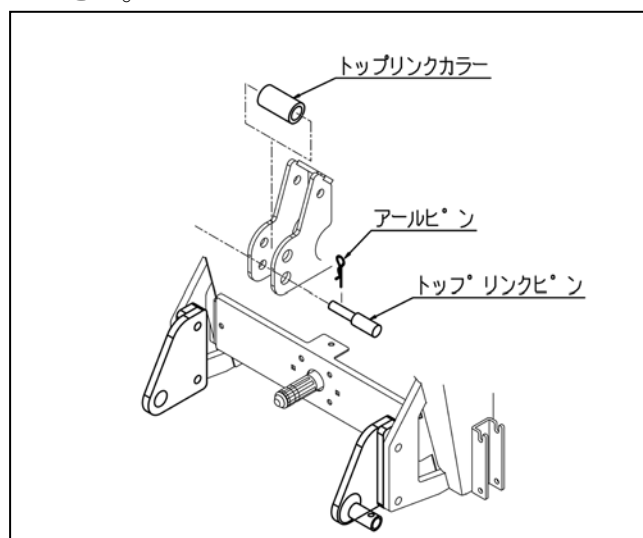
[2] ロワーリンクブラケットR、LにローワーリンクピンIを、バネザガネ22、ナット22で固定します。



[3] 両側の固定されたローワーリンクピンIに、ガイドカラーOS用を挿入し、ロールピン10×40を打ち込んで固定します。

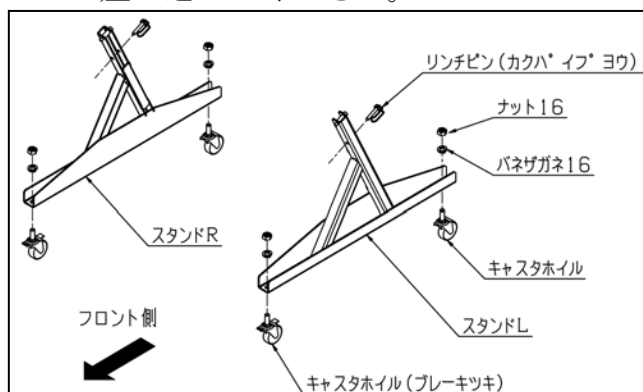


[4] トップリンク部の上穴にトップリンクピン、トップリンクカラー、アールピンを組付けてください。



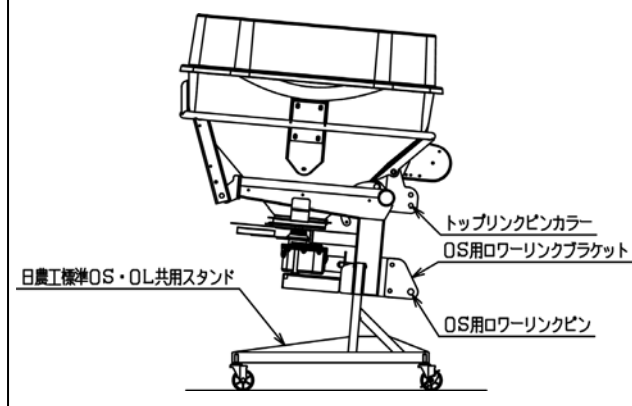
[5] スタンドL、Rの前側にキャスタホイール(ブレーキツキ)を、後側にキャスタホイールを組付けてバネザガネ16、ナット16で固定してください。

キャスタホイールの固定後、本体にスタンドを装着してリンチピン(カクパイプヨウ)を差し込んでください。



[6] 本機フレームに付属の日農工OS用スタンドを装着すると、日農工標準オートヒッチO・I用部品の取り付けは完了します。

組付け完成図
(日農工標準オートヒッチO・I)

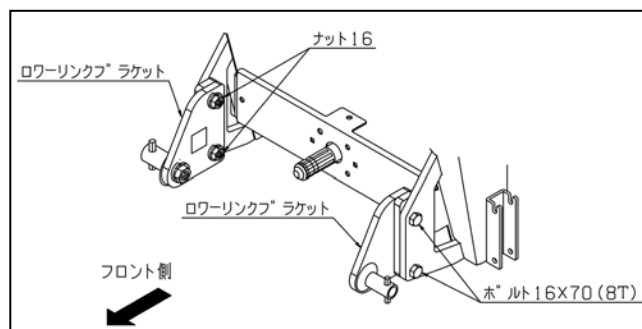


⚠ 注意

使用前に各部の組付けに誤りがないか、ボルト・ナット等が確実に締め付けられているかを必ず確認してください。

注 意

- 本機の装着後、トラクタの3点リンケージをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンケージの持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。
- 散布作業および移動時は、スタンドを取り外してください。そのまま作業すると、肥料がスタンドにかかり、散布の均一度低下の原因となります。
- オートヒッチがスムーズにドッキングできない場合やシェアボルトが頻繁に切れる場合は、ローリンクブラケットを固定しているボルト16×70(8T)、ナット16を軽く緩めて、入力軸がスムーズにドッキングできるように調整してください。



- オートヒッチを使用する場合には、積載物の重量が300kgを超えないように積載してください。積載重量が300kgを超えるとオートヒッチが破損するおそれがあります。